

# KETCHIKAN

## ケチカン

アラスカ最南端の町ケチカンは、アンカレッジ、フェアバンクス、ジュノーについて4番目に大きな都市。町はトンガス海峡に細長く伸び、森や丘にはカラフルな家々が並び、深緑のフィヨルド景観を彩っている。水産資源、森林資材に恵まれた土地柄から、町の発展はそれらの資源開発と共に歩んでいる。この地では古くからクリンキット・インディアンが鮭などの狩猟生活を送ってきたが、1887年に白人の入植が始まり、漁業と金鉱の両面から開発が進んだ。1897年には最初の鮭の缶詰工場が建設されている。1898年に近くで金が発見されてから、ケチカンにも金鉱の町としてブームが到来したが、まもなく金は影を潜め、1930年には漁業がその座を代った。この頃からケチカンは「世界のサーモン（鮭）の首都」と呼ばれて発展した。現在はアワビの養殖事業もスタートしている。又、林業も栄え、パルプ工場も建設された。

現在のケチカンでは観光も重要な産業の一つとなっている。ここでは自然景観に加え、クリンキットやハイダなどのインディアンが残した、トーテムポールが数多く見られる。雨量の多い地域のため、フィヨルドの景観が霧のベールに包まれ、大自然のたたずまいはより荘厳に、美しさはより神秘的になる。

人口： 15,000人

気候： アメリカ大陸の中でも最も雨量の多い地域の一つ。年間平均降雨量 4,000 ミリ

### ☆ケチカンの見所：

下記見所は寄港地観光に含まれている場所も多く、又、岸壁は町のメインアベニューのすぐ横なので、買い物やレストランなどは徒歩で行けます。

ビジターセンター：岸壁そばに立つ青い建物が観光局です。夏の期間のみオープンします。

トーテムヘリテージセンター Totem Heritage Center：

この場所にはオリジナルのトーテムポールが保存されており、コレクションとしてはアラスカ最大。行き方は、ケチカークリークを上流に向かって進むパーク通り(Park Ave)を15分ほど歩き、右手に自然公園が見えたら園内にある奥の橋を渡って下さい。住所は601 Deermont St.です。

トンガス歴史博物館 Tongass Historical Society Museum：

ケチカンの歴史を語るネイティブの民芸品、帝政ロシア時代の遺品、絵画、彫刻、鉱物、動植物の展示品などが陳列されています。

クリーク通り Creek St.：

ケチカン発祥の地、ケチカン・クリーク沿いの古い町並みをそのまま残しています。現在はギフトショップやカフェなどになっています。当時を再現した博物館やドーリーハウス(Dolly's House Museum)があります。

ホエール公園 Whale Park：

クジラの形をした小さな公園で、トーテムポールが立っています。このトーテムポールに触れると24時間以内にお金が手に入ると言われています。

南東アラスカ ビジターセンター Southeast Alaska Visitor Center：

南東アラスカの歴史と自然を展示した新しい博物館。昔のネイティブの人々の生活の様子を再現した手芸品のディスプレイや、東南アラスカの自然がわかる展示など見応えがあります。

※本文/地図に記載の料金などの情報は、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。